

## 第1回 市立自転車駐車場のあり方検討委員会(2025年5月29日)議事要旨

- 1 日時 2025年5月29日(木曜)10時から12時
- 2 場所 神戸市役所1号館24階1247会議室
- 3 主な議題 市営駐輪場の現状把握、アンケート等調査内容の確認について

### 4 出席者

#### (1) 委員(5名)

神戸大学大学院工学研究科 教授	織田澤 利守
京都大学大学院地球環境学堂 准教授	山口 敬太
大阪公立大学大学院工学研究科 准教授	吉田 長裕
松井公認会計士事務所 公認会計士	松井 年志子
神戸中央法律事務所 弁護士	森 有美

#### (2) オブザーバー(5名)

認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸 事務局長	飛田 敦子
一般社団法人 自転車駐車場工業会(芝園開発株式会社 代表取締役)	宮本 薫
神戸大学 4回生	松田 優花
大阪公立大学大学院 博士課程前期1回生	宮下 晴貴
京都大学大学院 修士課程1回生	原田 真采

#### (3) 事務局(7名)

建設局駅前魅力創造課担当部長	畑中 達也
建設局駅前魅力創造課担当課長	浅貝 弘二
建設局駅前魅力創造課担当係長	大城 泰久 佐野 俊幸 柏 陽介
建設局駅前魅力創造課担当	中村 亮 武村 みづほ

### 【議事(1)「市立自転車駐輪場のあり方検討委員会傍聴要綱」の承認】

原案通り全員一致で可決。

### 【議事(2)委員会への諮問事項の概要】

年度内に答申をまとめることで合意。

### 【議事(3)駐輪場の現状と課題について】

#### (委員)

鉄道駅を中心とした駐輪場のみを対象としている理解であっているか。また、駐輪場のない駅があるのか、そのような駅についてサービス拡大のニーズがあるのか。

(事務局)

鉄道駅の駐輪場を対象として考えている。駅ごとに駐輪場があるが一部駐輪場のない駅がある。

(委員)

この先すべての鉄道駅に駐輪場を整備する必要性の有無を含めて考えていくべきなのかどうかということも重要なポイントであると考えするため、駐輪場の無い駅についても情報を整理してほしい。

(事務局)

駐輪場の無い駅についても情報を整理していきたい。

(委員)

市営駐輪場位置図に板宿駅に駐輪場がないことになっているのはなぜか。

(事務局)

板宿駅の駐輪場は民間の駐輪場となっている。

(委員)

キャッシュレスやスマート化を進めているが、実際どの程度の削減効果があったのか。人件費が高騰する中で将来的なコストカットの余地についても、今後情報を整理してほしい。

(事務局)

WEB サービスの導入により現金の取り扱いが減少して省人化した。また、月末の定期券購入について臨時販売所の増員を行っていたものも不要になった。有料で運営してきた駐輪場を無人無料化することでもコスト削減を行っており、1～2千万円削減できた。今後の対応として、一時利用券の手売りをやめ券売機での販売する方法を検討しているが、未だに有人窓口の利用が多いため移行を進めていかなければならない。また、インフォメーションセンター等での対応も検討の余地がある。

(委員)

指定管理料 5.4 億円に対して放置自転車対策が 2.3 億円とかなり大きなコストとなっている。放置自転車対策費は過去より同程度生じているのか、また、削減するような方策は検討されてきたのか。

(事務局)

撤去保管所が 13 か所ある。都市部である三宮、東部管内は放置自転車が非常に多いため、常時受け取れる体制である。北区、西区、垂水区は放置自転車が減少してきているが、取り締まりや返還の対策業務の体制は維持する必要があることからなかなかコスト削減の方策が打てていない。一定の省

人化をするために例えばカメラをおいて遠隔で操作を行うといったことも考えていかなければならない。

(委員)

撤去保管所の費用がかかっている理解でよいか。

(事務局)

利用者が駐輪場の保管所に受け取りに行くため、遠すぎても良くないという考え方のもと、それぞれの保管所を設置しており、それぞれに人が配置される必要があることから費用がかかっている。

(委員)

保管所人員は常時配置なのか。返還のため取りに行く曜日や日にちは指定か。

(事務局)

令和3年度から、週に3日3時間のみなど見直しを行っている。

(委員)

返還されなかった自転車はどれくらいの期間保管し、最終的にはどのように処分しているか。

(事務局)

法律的には、公示してから6か月で放置自転車の所有権が神戸市に移る。三宮等撤去台数の多い保管所は、返還されない場合、満杯になるため撤去後3か月程度で売却し、売却後に来た利用者へは金銭を返還している。

(委員)

放置自転車の要因をどのように考えているか。駅ごとに違うのか、収容台数の問題なのか、利便性の問題なのか、意識の問題なのか。

(事務局)

利便性が大きい要因と考えている。放置自転車は駅前に多く、短時間利用をしたい場合であっても現状の市営駐輪場の料金体系の場合、一時利用として100円がかかるため、預けるのが煩雑と考え放置する方も一定数いるのではないかと考えている。また、容量的に駐輪できないという要因もあると考えている。

(委員)

放置自転車の減少傾向の背景としてはどのようなことが考えられるか。

(事務局)

収容台数が増加してきたことに加え、利用台数が緩やかではあるが減少傾向にあることなどが考えられる。また、令和3年度から駐輪場運営と放置自転車対策の一体運営を行っており、その効果も出ている。

(委員)

収容台数が2019年から減少しているのはどういう理由か。

(事務局)

収容台数の見直しを行った。1台あたり60センチの幅を確保するよう収容台数を見直した結果、以前と比べて収容台数が減少している。駐輪場を廃止したわけではない。

(委員)

条例で定められている放置自転車禁止区域のエリアをどの程度設置しているのか。放置禁止区域を定めるとそのエリアの外側に放置自転車が増えてしまうため、放置禁止エリアの放置自転車の数字だけをみて問題が解決しているかというところでない側面もある。

(事務局)

放置自転車禁止区域図はお示しする。有料駐輪場があるところは駅から半径500メートル程度の放置禁止区域を設定している。三宮、元町は、ご指摘のとおり放置禁止区域から外れたところの放置自転車が多かったことから、ここ10年で大きな面として放置禁止区域を設定してきた。

(委員)

利用状況が回復しているがコロナ前までの水準に回復していないのはなぜか。

(事務局)

全国的にテレワークが進んでおり、定期を解約して一時利用とする変化が生じていると考えられる。

(オブザーバー)

神戸市では、A枠B枠という独自の指定管理者の枠があり、複数駐輪場の管理ではなく1か所の駐輪場の指定管理者として参加できるという全国的にも珍しい特性がある。これにより地域活動の一環として地元のNPO法人等が駐輪場の指定管理業務を担い、障がい者やシニア人材が働きやすい環境を作り出していると思う。

駅前に必ず駐輪場があることで、街づくりの一環として障がい者雇用や認知症サポーターの配置により、認知症の方の対応など安心を提供できる側面もあると考えている。また、社会貢献的な取り組みを駐輪場に付加することで、駐輪場で働くこと自体が社会貢献となりシニアの方のモチベーションにつな

がるということも考えられる。

(委員)

駐輪場をどう整備するかは、利用者数や必要な収容台数で様々パターンが想定される。景観形成のあり方や道路整理のパターンを考えながら、どのようなタイプの駅に対してどのような方策が考えられるのか、パターンで整理してほしい。屋根つき、屋根なしの観点からも掘り下げをお願いしたい。

(委員)

利用者にとって質の高いサービスが提供できるかという踏み込んだ議論をするために、引き続き現状把握のための資料の見直しをお願いしたい。また、利用者に対する駐輪場利用状況のデータ提供などについても引き続き検討していただきたい。

#### 【議事(4)利用者アンケート調査および他都市調査について】

(委員)

今回実施を考えているアンケートと過年度に実施したアンケートの方式は同じか。

(事務局)

異なっている。過年度のものは調査員による現地での聞き取り調査などであったが、今回はWEB サービスを活用したアンケートを予定している。

(委員)

自転車の車両タイプの質問をしてほしい。車両ごとの満足度や課題を抽出できるようにしてほしい。

(委員)

他都市の調査は、国内の他都市のイメージでよいか。海外都市(WEB ベースでの実施)も含むか。また、ヒアリングに行くのか。

(事務局)

国内を想定している。質問書をメール等で送って回収することを想定している。

(委員)

今までの調査は駐輪場の利用者に限定されていたため、利用していない人まで含めることも検討してみしてほしい。また、他都市調査では、自転車に替わる電動四輪やシニアカーなどの新しいモビリティの利用状況も調べることを検討してほしい。周辺のモビリティの利用状況も踏まえて調べるということも潜在的なニーズを知るうえで重要と思われる。

(事務局)

検討するが、WEB サービスを想定しているため、まずは今現在利用されている人を対象としたい。

(委員)

シェアサイクル、シェアモビリティについては、今回の議題には含まれていないが、駅前をどう活用するかの話になってくると別問題ではなくなってくるのではないかと。

(事務局)

考えていきたい。シェアサイクルを駐輪場で受け入れていくかどうかについても今後議論したい。

(委員)

高齢者など WEB サービスを利用していない利用者へのアンケートを考えていないのか。WEB サービスの利用者について、年齢層の隔たりはないのか。

(事務局)

まずは WEB サービスで実施したいと考えている。メールアドレス登録者の年齢構成はまた後日回答とさせていただく。高齢者でも一定のメールアドレス登録者がいることは把握している。

(オブザーバー)

住吉駅の駐輪場で独自にアンケートを取った際、防災の観点の希望があった。

#### 【議事(5)学生の意見聴取の機会についての報告】

事務局にて調整をして開催することを確認。

(オブザーバー)

景観と利便性のバランスを考えていくのが大事だと思った。また、駐輪場の景観は、利用していない人の幸福度にもつながるため重要だと思った。

(オブザーバー)

キックボードなどの新モビリティの利用状況が気になる。また、いつも利用している駐輪場ではとても詰めて入れられているので、おもいやりゾーンの政策は素晴らしいと思った。

(オブザーバー)

景観と利便性のバランスをどうするか。また、地下タワー式駐輪場の入出庫の時間が気になった。

(事務局)

地下タワー式駐輪場の入庫は数秒、出庫は数十秒。朝の混んでいる時間でもストレスなく利用できるものと考えている。